

星野学園小学校新聞

星野学園小学校
埼玉県川越市上寺山 216-1
〒350-0826 TEL.049(227)5588

星野学園小学校
Web

www.hoshinogakuen.ed.jp/hes/

待望の学校再開



登下校の様子

令和二年六月一日(月)おおよそ三か月ぶりに学校が再開された。校舎に子どもたちの元気な姿が戻り、教室いっぱい明るい声が響き渡った。本校では、臨時休校期間中に、オンライン会議システムを用いたホームルームを行い、新クラスでの親睦を深めてきた。しかし久しぶりに再会し、直接コミュニケーションを取ることがまた一味違ったようである。



教室での様子

学校再開後の初めの二週間は、「三密」を避けるため、分散した生活様式に対応した学校の在り方が求められる。このような状況下において、子どもたちを感染リスクから守るため、本校では様々な取り組みを行っている。休校中と休校明けの取り組みに分けてご紹介しよう。(山岸)

休校中の取り組み



校長先生と1年生



動画配信風景

おだやかな日常から、突如と配信した。また、会が始まった長い臨時休校。本校では、在校生保護者ページを活用し、そこに日々の課題や連絡を載せることで、学校再開後の動きや学習の進め方を伝えることになった。また、週に2度、心や体調、課題の進捗状況を確認するために電話をしたり、オンライン会議システムを用いて、児童同士の交流の場を設けた。具体的なには、ホームページでは、教員の授業動画つき課題や、今後の学習につながるような自習プリントを配信した。また、会議アプリを用いたオンラインホームルームを行い、進級したばかりでクラスの色が変わった子どもたち同士が交流できるような取り組みをクラス毎に行なった。1年生が担任、クラスメイトの顔を見たとときのうれしそうな顔は忘れられない。これらの試みが、ご家庭と教員、教員と子ども、子ども同士のつながりを保つことにつながり、学校再開後の不安を軽くする手助けになっていたことを願うばかりである。(飯田)

星野のコロナ対策



密集回避を意識した手洗い場の様子

長期に渡る休校が明け、学校が再開すれば、児童が三密になる場面を減らし、共用で使用する場所の対策が必要である。本校でも、学校再開に向け、児童が三密にならないための対策を立て、準備を進めた。ウイルス対策に欠かせないのが、手洗いだ。登校後、授業後、給食前等これまで以上に、手洗いをする回数が増える。そこで一定の距離を保つまま手洗いを進めるよう、水道の蛇口の使用箇所を限定した。また、手洗いに並ぶ児童の間隔をあげるため、廊下にテープを貼って並ぶ場所を示すようにした。そして手洗いの方法が1年生



手洗いを励行しています

でもわかるように、校内全ての手洗い場にポスターの掲示を行った。その他にも、児童の机の間隔をできる限り空け、児童自身で距離をとれる工夫をしている。今では、児童だけでなくしっかりと間隔を取ることができ、一人一人が密にならないよう学校生活を送っている。また本校では換気による空気の流れ替えも徹底している。朝には教室や廊下の窓を全て開け、風通しを確保している。PTAのご協力もあり、各教室に空気清浄機が設置され、より安心して過ごせる環境が確保された。このような中で、本校の児童は学校生活を送っている。(藤本)

入学式と一年生の様子

六月六日(土)、星野学園小学校に新しく七十二名の仲間たちが入学した。四月九日(木)に挙行される予定だったが、新型コロナウイルスの影響を受け、長く延期となっていた。臨時休校期間中には、保護者の方々は勿論、新入生の児童たちからも、入学式を待ち望む声が多く上がっていた。そのような中、新型コロナウイルス感染拡大防止に最大限努めた形入学七十二名は、日々奮闘が無事に執り行われ、生活が始まって間もない中、話を聴くこと、勉強に十二名は、緊張しながら仲良く遊ぶこと、元気よく、校長からの訓話や、学校に通うこと、自分で担任の先生からの呼名分のことをすること等、星野学園が掲げる「まじめがむことができた。星野学園が大切にしている礼法を学び、星野学園小学校の一年生としての立派な姿を見せてくれた。

今年度の新入生は、新型コロナウイルスの影響を受け、入学式前から、本校のホームページを通じて小学一年生の学習をスタートさせていた。小学校生活に慣れるためのオリエンテーション期間も、時差・分散登校によって短期間となった。入学式を終えた新入生は、星野学園小学校の一人となったことを自覚し、新たな生活をスタートさせる。これからの健やかな成長、大いなる飛躍が期待される。



しっかりと勉強しています

(佐藤優)

ICT活用授業

ここでは、本校に今年度から導入されたプロジェクトターを使った授業を紹介する。

プロジェクトターは教員のもつ iPad と繋がっており、黒板に設置されたスクリーンに画面をそのまま映すことができる。授業では、資料やグラフ、地図などをスクリーンに投影している。それらを大画面で見せることで、大切な事柄を視覚的に理解できるようになった。また、これまで時間のかかっていた算数の作図も時間がからなくなり、授業の密度がより濃くなった。デジタル教科書を用いた授業では、教科書の本文の中で大事なことを画面に直接書き込



デジタル教科書を使用しています

ことができ、県内有数の音響設備を誇る。本校では、世界3大ピアノメーカーのうちの2つ、ベーゼンドルファーとスタインウェイ・アンド・サソンのピアノを所有している

むことで、子どもたちの理解が深まった。

プロジェクトターを使用することが可能になり、各教科において様々な取り組みができるようになった。学級活動においても、多くの場面で使用している。日々の学習がより効果的になるような使い方を目指している。



星野記念講堂はハーモニホール(大ホール)・小ホール・ブリーズウェンホール(野外劇場)の3つからなる。その1つであるハーモニホールは、最大約1500名まで収容することができ、県内有数の音響設備を誇る。本校では、世界3大ピアノメーカーのうちの2つ、ベーゼンドルファーとスタインウェイ・アンド・サソンのピアノを所有している



合唱祭で使用しました(昨年の様子)

設が複数ある。例えば星野ドームである。星野ドームは、地面が人工芝になっており、転んでも怪我をしにくい仕様になっている。また、屋根が備わっている。雨の日でも体を動かして遊ぶことができる。本校の児童は、ここで主にサッカーを遊んでいる。

星野の休み時間

本校の休み時間の様子を施設紹介を交えてお伝えする。本校には、休み時間に利用できる独自の施設が複数ある。初めは全く登れなかった児童も、日を追うごとにメキメキと上達している。星野く。

本校には、遊びながら体力を向上することができるボルダリング場がある。休み時間には、友達と競うように登ったりと意欲的に取り組んでいる姿が見える。



ボルダリングの様子

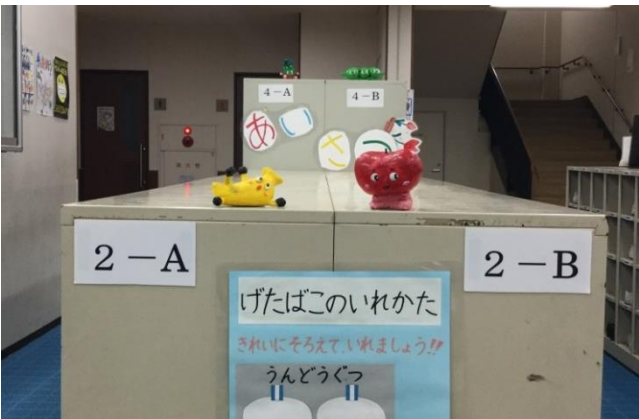
柱による非常に頑丈な作りになっており、災害時の避難場所として使用されている。これらの施設や設備を備えているため、9年前の東日本大震災の際も大きな被害はなかった。その時は、お迎えで下校をする児童以外は全員ハーモニホールに避難し、保護者が迎えに来ることを待った。本校は人命尊重を掲げている学校である。安心できる環境を備え、子どもたちの安全を守っていく。(山上)

星野の災害対策

星野学園の建物はすべて耐震構造となっており、万が一の災害に対する備えが万全である。2号館の図工室の地下には備蓄庫が備わっており、全校児童3日分の非常食と簡易寝袋が保管されている。また備え付けの大型自家発電機により停電時でも電力が確保される。第3体育館1階は、中央にある3本の

星野のキャラクター紹介

本号では前号に引き続き、本校のキャラクターを紹介する。「キャラクター」というものは、現代社会において、我々と共生し、その地位を確立してきた。しかし、学校



下駄箱で出迎えてくれます

例えば、二年A組のあつぷるくんは、Appleの頭文字の「A」とA組の「A」で合わせており、またB組のバナナさんはBananaの頭

の中に潜み、そして寄り添い学びあえるキャラクターが存在するといふのなら、どれほど学校が充実するだろうか。本校には、学年毎にテーマに合わせたキャラクターがいる。一年生はクッキー、二年生は果物、三年生はパン、四年生は野菜、五年生は犬、六年生は昆虫がテーマとなっている。一年A組はえあぶれいんさん、一年B組はバスクン、二年A組はあつぷるくん、二年B組はバナナさん、三年A組はあっぱんくん、三年B組はバターロールちゃんなどである。それぞれのキャラクターの頭文字は、クラスターのアルファベットとなっている。

文字の「B」とB組の「B」とが一致している。四、六年生のキャラクターについては、これからの楽しみにしていただきたい。そしてこのキャラクターたちは、普段の学校生活の中で数多く登場する。時には玄関で出迎えてくれたり、時には学校の様々なプリントの中に隠れたりしている。彼らはクラス全員が知っている共通のアイコンとして活躍している。彼らと何年も過ごすにつれ、自分の学年のキャラクターに愛着が湧いてくる。皆さんはどのキャラクターと関わることになるのだろうか。(大森)



進級おめでとうございます

学年通信の題字です